



# 愛知長久手ロータリークラブ

## 2019-2020

### WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」  
 会長 中川清子 幹事 伊藤 真 会報 奥野悦弥  
 Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446  
 FAX:0561-64-5459



## ロータリーは世界をつなぐ



本日 第 764 回 2019 年 11 月 10 日(火曜日)756 号

## ながくて市民まつり・地区大会

長久手市役所前 9:00  
 ホテルナゴヤキャッス 9:30

### 前回 第 763 回例会 2019 年 10 月 29 日(火曜日)記録

#### <出席報告>

員 総 数 18 名  
 出席者 11 名 出席率 61.11% 前々回補正出席率 82.35%

#### <会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ  
 会 長 中川清子

皆さん、こんにちは。

あと2日でもう11月です。あっという間に、11・12月と過ぎ、今年は終わっていくなんて、本当に時の過ぎ行く時間は早いです。“すでにインフルエンザも流行っている”なんて話も聞きますので、皆さん、お気を付け下さい。

さて、10月12日(土)・13日(日)で催される予定だったWFFが台風予測により、急遽取りやめになり、全員登録をしていたのですが、残念でした。随分前からこの日の為にいろいろ用意をされていた地区役員の方々、御苦労様でした。

先日この長久手RCにも卓話の時間にお越しいただいた、私の友人の星ヶ丘レクサス元副GEをしていた松原千恵子さんを、35年間続いている女性不動産の会「レミの会」の講師として呼びました。会員の中から松原さんのお話を是非聞きたい、という声上がり、再びお願いしたわけです。『女性が輝きながら働く覚悟とは』といった演題でしたが、相変わらず彼女の話には魅了されました。彼女の“語り口”と“何とも言えないオーラ”が全身からあふれ、全員が現役バリバリの30～50代の不動産営業ウーマンなので、とても勉強になったようです。例えば「クレーム対応」について、お客様がどんな時にクレームを言いたくなるのか？まず“自分を大切に思ってくれていない”と感じられる時、先に来ているのに後から来た人が対応を受けているとか、頼んだ事がいつまでたっても返事が来ないとか、やはり御立腹される理由がある。まずはお客様に「軸足を置いた」「おもてなし」をする。営業とは人との「コミュニケーション能力」であり、その能力が有るか無いかは、ビジネスシーンに限らず、その人の人生を“幸”にも“不幸”にもする。しっかりと目を見て、笑顔でこちらから先に御挨拶をする。そして、一言“言葉を付け加える。”そのことがお客様の心に落ちたかどうか？

「文化」とは“衣・食・住”の「より良いものを求める」産業の母体である。居心地良く、ストレスなく、お客様が心から落ち着き、納得されるか？感情を相手に伝えるのはその人の「人間力」ホスピタリティです。等々。“わかっているけど…” “今更…” と思いつつ、意外とこの年になると、そんなことが心から離れてしまっている自分にハッとすることがありました。

このRCも大ベテランの、それも企業のトップの方々ばかりですが、社に戻って社員の方々にチラッと目を配ってあげて下さい。

話は変わりますが、「女性の時代」だそうです。11月には斉藤ガバナー主催のロータリーの『女性の集い』もあるそうです。私なんか、35年間不動産業という男性社会の中で、男も女もなく戦ってきたので、あまり女性という意識もないのですが、“今更？”が本音です。そして現実として今や「女性より強い男性」っています？  
 (笑) まったく人間として平等だと思います。女性を大事にさせていただけるのは有難いと思いますが…。

<幹事報告>

- ① 次週例会 11/5(火)は、同週祝日振替休会の為お休みになります。  
 次回例会は、11/10(日)ながくて市民まつり、地区大会になります。市民まつり出席の方は、長久手市役所にご集合ください。ブース番号等がわかりましたら、市民まつりのご案内としてメール・FAXにて送らせていただきます。よろしくお願ひいたします。  
 地区大会にご出席の方は、受付 9:30 開会 10:00 閉会 16:15 場所はホテルナゴヤキャッスルになります。地区大会のご案内再度メールにて今週中に送らせていただきますので、ご確認のほどよろしくお願ひいたします。
- ② 今年度も「ロータリ希望の奨学金」の支援協力がきております。本会計よりお支払いをいたしましたので、下期会費にご請求させていただきます。よろしくお願ひいたします。
- ③ 尾張旭 RC より、2/20(土)東尾張分 IM 開催のご案内が届いております。こちらにつきましても、メール・FAXにてご案内させていただきますので、ご出欠のご連絡よろしくお願ひいたします。
- ④ メール等のご案内させていただいておりますが、「女性の集い」にご参加の方がお見えになりましたら、10/29(火)までに事務局までご参加されます方のお名前のご連絡をよろしくお願ひいたします。

■ニコボックス委員会■

- ・あいにくの雨ですが、大雨でなくて何よりです。今日は米山記念奨学事業について、神谷さんの卓話を楽しみにしております。よろしくお願ひします。 中川清子
- ・本日もどうぞ宜しくお願いします。 伊藤 真
- ・小笠原さん、今後共楽しいロータリー生活をしていきましょう!! 丹羽司一
- ・米山卓話よろしくお願ひします。 伊藤広治
- ・小笠原多恵さん、本日より受付をよろしくお願ひ致します。神谷さん米山記念奨学会卓話よろしくお願ひ致します。 山田文明
- ・神谷さん卓話宜しく御願ひします。本日も宜しくお願ひ致します。 青山和成
- ・本日もよろしくお願ひします。 田中信子
- ・本日米山卓話宜しくお願ひ致します。なかなか出席出来なくて申し訳ありません。 神谷恵理
- ・秋らしくなってきました。本日もよろしくお願ひいたします。 近藤鋭雄
- ・今日もよろしくお願ひします。 大橋良宣
- ・神谷さん初めまして、新しく入りました。お話楽しみにしています。今後ともよろしくお願ひします。 小笠原多恵

<卓話>

No.	タイトル	原稿
1	ロータリー米山記念奨学事業	・あいさつ
2	留学生の現状	社会的背景 ・2000年あたりから日本に留学する外国人が急増し、 ・現在、大学/大学院/専修学校などの「高等教育機関」に在籍している留学生は、20万人を超えています。 ・加えて、日本語学校に在籍している人も合わせると、30万人以上のぼっています。 ・そのうち、国費で留学している人は極わずかで、ほとんどは私費留学生です。 ・私費留学生の多くは、アルバイトをして生活費と学費を稼ぎながら、学業に励んでいます。

3	米山奨学事業とは？	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米山奨学事業は、そうした留学生に奨学金を支給している、日本のロータリー独自の活動です。</li> <li>・1967年に始まり、今年で52年を迎えました。</li> <li>・目的は2つ：将来日本と海外の架け橋として活躍してくれる優秀な学生を支援すること、そしてロータリアンとの心の交流を図ることです。</li> </ul>
4	事業実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで累計2万人以上、127カ国の留学生に奨学金を支給してきました。</li> <li>・毎年、約850人の奨学生に対し、約14億円を支給しています。</li> <li>・これは、日本の民間の奨学制度の中で、最大級の事業規模です。</li> </ul>
5	留学生の声		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に奨学金を受けた留学生の声を紹介します。(4人)</li> <li>・この他、「アルバイトをせずに済むので学業に専念できています」という声も当然ながら非常に多いです。</li> </ul>
6	指導教員の声		<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、留学生の指導教員からも、様々なコメントをいただいています。(2人)</li> </ul>
7	事業のはじまり	事業の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、そもそもこの事業が、日本独自の奨学制度としてどのように始まったのかをご説明します。</li> <li>・事業の称号になっている米山梅吉さんは、日本最初のロータリークラブ創立に貢献した実業家です。</li> <li>・彼自身がアメリカで8年間の留学生生活を送り、帰国後に様々な功績をあげられました。</li> <li>・その意志を受け継いで、東京ロータリーの古沢丈作さんが奨学事業を構想し、全国に広まって財団法人設立に至ったという経緯です。</li> </ul>
8	なぜ留学生事業なのか？		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時のロータリアンには、このような思いがありました。</li> </ul>
9	米山奨学事業の使命		<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまりこれは「世界平和への願い」を込めた「民間外交」なのであります。</li> </ul>
10	米山奨学事業のしくみ～選考～	事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では実際どのように運営しているのか、というご説明をいたします。</li> <li>・まず奨学生の選考基準は、5つあります。</li> <li>・学業面だけでなく、人物面も重視していることが大きな特徴です。これはロータリアンとの交流を促すために必要不可欠な要素だからです。</li> </ul>
11	米山奨学事業のしくみ～種類～		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれた奨学生には、月10万～14万円の奨学金を支給します。</li> <li>・奨学金の中には卒業後に返済を求めるものもありますが、米山奨学金の場合は一切、返済不要です。</li> </ul>
12	米山奨学事業のしくみ～条件～		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし条件がいくつかあります。</li> <li>・まず、配属された世話クラブの例会に毎月必ず出席すること</li> <li>・また年間行事が7回ほどありますので、各行事に出席することも条件です。</li> <li>・そして、奨学生を卒業した後は、学友になっていただきます。学友については後ほど説明します。</li> </ul>
13	当地区の米山奨学生	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような条件で、当地区で奨学金を受けている学生は、今年度52名います。</li> <li>・所属大学は11校ですが、人数が多いのは名古屋大学や豊橋技科大などの国立大学です。</li> <li>・年間行事では全員が顔を合わせ、各国の歌や踊りを披露してくれて和気あいあいとしています。</li> </ul>
14	学友会とは？	学友につ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そして、彼らは奨学生を卒業した後、「学友会」に自動的に入ります。いわゆるOB会ですね。</li> <li>・日本に残る人もいれば、国に帰る人もいますので、今では国内33ヶ所、海外9ヶ所に学友会ができています。</li> </ul>

15	学友会の活動（国内）	いて	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学友会では、独自に様々な活動を行っています。</li> <li>たとえば途上国での医療支援、他団体との交流会、米山奨学事業の普及活動などです。</li> </ul>
16	当地区の学友会		<ul style="list-style-type: none"> <li>当地区の学友会も、奨学生とロータリアンとのつなぎ役のような形で、交流会などに毎回参加しています。</li> </ul>
17	巣立った奨学生・学友の活躍	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>このように奨学生、学友を経てロータリアンとなった人は、231 人にも上ります。</li> <li>ガバナーにまでなった学友は、これまで3人。</li> <li>ロータリークラブがなかった国や地域にも、学友が中心となって5つのロータリークラブが設立されました。</li> </ul>
18	恩返しの気持ち		<ul style="list-style-type: none"> <li>また東日本大震災の時には、3000 万円以上の義援金が国内外の学友から送られました。</li> <li>その他の寄付も含め、これらの数字は、米山奨学事業への恩返しの気持ちがどれほど大きいかを表しています。</li> </ul>
19	国際ロータリーにおける評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>そしてこの一連の実績は、国際ロータリーからも高く評価されています。</li> </ul>
20	寄付の使徒	寄付のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要なのは、この事業はすべてロータリアンからの寄付で成り立っているということです。</li> <li>寄付には「普通寄付金」と「特別寄付金」があり、約 14 億 3 千万強の総額のうち、8 割以上を奨学金として使っています。</li> </ul>
21	奨学生数は寄付額で決まる		<ul style="list-style-type: none"> <li>また、その総額や割合から、翌々年の奨学生数を決めています。</li> <li>つまり寄付金がたくさん寄せられるほど、奨学生がたくさん採用される仕組みです。</li> </ul>
22	寄付のしくみと実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金の個人平均は、全国で 16,000 円代ですが、当地区は 13,000 円代にとどまっています。</li> </ul>
23	平均寄付額		<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的にみると、個人平均が最も多いのは第 2590 地区（横浜市・川崎市）で 3 万円代。</li> <li>当地区の 13,493 円は、残念ながら 20 位です。</li> </ul>
24	特別寄付者の割合		<ul style="list-style-type: none"> <li>会員数に占める特別寄付者の割合で見ますと、当地区は、会員数は全国で一番多いのですが、割合は 29.1%で全国平均以下です。</li> <li>最も割合が多いのは、第 2840 地区（群馬）の 83.4%。</li> </ul>
25	ご支援のお願い		<ul style="list-style-type: none"> <li>ということで、ここはひとつ当地区のプライドにかけて頑張らなければならない！ということで、一人あたり 2 万円の寄付を寄せていただくことを目標に掲げました。</li> <li>会員数に占める特別寄付者の割合も、80%を一気に越えたい！ということで、新規寄付者を 2400 人以上増やさなければならないという驚くべきハードルの高さです。</li> </ul>
26	税の優遇措置について		<ul style="list-style-type: none"> <li>しかし安心してください。ロータリーは公益財団法人ですので、寄付をすれば税金が控除されます。</li> <li>個人で寄付してもよし、法人としてされてもよし、遺言に残されるのもよし、支援する側もされる側も無駄なくハッピーになれるこのシステムさえ知っていただければ、当地区としての目標達成も夢ではないと信じています。</li> </ul>

27	(記念品)		・さらに、寄付者には記念誌とネクタイが贈られる他、寄付額に応じて表彰も受けられます。
28	第7代理事長とともに	念押し	・昨年には、当地区の斎藤直美さんが第7代理事長に就任されましたので、ますます頑張らないわけにはいきません。どうか皆さん、第2760地区一丸となって、日本から世界に平和の架け橋をつくりましょう。当事業へのご理解とご寄付を、よろしくお願いいたします。



11月19日(火)	11月24日(日)	12月3日(火)	12月10日(火)
財団卓話	補助金事業	年次総会	クラブフォーラム
(トヨタ博物館)	(長久手文化の家)	(トヨタ博物館)	(華野)